

1年生学年だより

豊中市立第五中学校 2021年12月22日(水) No.37



12月の道徳 伝統と文化、個性と差別、あいさつ、決まり について

◇ 「奈良筆に生きる」道徳の教科書より

奈良筆の職人史峰が、自分の理想とする筆作りに一生をかけて努力精進し続ける姿から、日本の伝統を継承することの重みを学ぶ授業でした。中国伝来の筆は、奈良にも伝えられ、筆の柔らかさと墨の含みの良さによって高く評価されている奈良筆として大切にされています。

多文化共生を考えると多文化共生が多かった2学期のまとめに、日本の伝統や文化について知る機会となるよう授業しました。生徒の感想から、

- ・奈良筆というものがあることをはじめて知った。昔から続いているものなら、少しでも伝統を残していきたい。
- ・世界中に日本の伝統のすばらしさを、世界からもっと後継者が増えるように、みんなに伝える。
- ・筆のこと知らなかったで、道徳の授業が新鮮だった。
- ・1つのことを貫くことってすごく難しいと思った。
- ・筆をつくるのにそんなに簡単ではなく、座ってすぐに仕事をさせてくれるわけは、ないんだなあと思った。



◇ 「ぼくよりダメなやつがきた」

漫画の「ぼくよりダメなやつがきた」の話から、自分より苦手なものがある人がいれば、自分以下の人なのか？ それは、自分がすばらしい…のでしょうか？

自分より苦手なものがあるなかなかは、見下していいの？ 遊びやゲームで相手にいつでも自分が勝ってしまうとき、相手が弱いなら、見下す態度をとってしまってもいいの？ 相手を見下したときの自分は、なかまや親友に本当になれる人なのか？

立場を自分でなく、相手に変えることで相手の思いが見えて、『差別していたこと』に気づくものだと、授業しました。生徒の感想より、

- ・苦手なことが多くてもダメじゃない。
- ・友達の良いところばかり見るのではなく、良いところをたくさん見つけていきたい。
- ・相手を思いやって、話せるようになりたい。



◇ 「あいさつや礼儀はなぜ必要？」

「あいさつや礼儀のことなんて特に考えたこともない。」という人がほとんどでしたので、あいさつや礼儀について考える授業をしました。70期生のあいさつの言葉とは、『おはよう』『ありがとう』『ごめんなさい』『さようなら』など。また、あいさつや礼儀は、「人と人をつなぐもの。」「コミュニケーションをとるために必要。」だと知っているようです。生徒の感想より

- ・あいさつをすることで、朝の自分の気持ちが変わるとわかって驚いた。
 - ・ありがとうの言葉を大切にしたい。
- では、みなさん、会った人にあなたから『あいさつ』をしましょう。五中の生徒会も朝、あいさつ運動していますよ。



◇ 「おくれてきた客」 NHK for School ココロ部より

美術館の警備員が、営業時間後に訪れる客を中に入れるのか入れないのかという話で、テーマは『決まりやルール(規律)』でした。さらに、実際に自分たちの身の回りにある決まりやルール(規律)について考えました。最初、決まりやルール(規律)は「自分たちをしばりつけるもので、とてもきゅうくつだ。」と感じている意見が多かったです。では、ルールがなぜあるのか。

ルールとは「みんなが気持ちよく生きていくために必要なもの。」「自分たちを守ってくれる大切なもの。」と、気づいた意見や、「今のルールをもっと意味があるように、自分たちで話し合っ変えていくことも大切。」という意見もありました。



私たちの周りにはルールについて知ること、また、そのルールがより自分たちの住みやすい社会を作っているか考える授業でした。